



公的医療機関等2025プラン

2018年 7月 策定

2024年 2月 更新

公的医療機関等 2025 プラン（2023 年度版）

○基本情報

- ・ 医療機関名
獨協医科大学埼玉医療センター
- ・ 開設主体
学校法人獨協学園
- ・ 所在地
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50
- ・ 許可病床数
928床
(病床種別)
一般病床 923床、感染症病室 5床
(病床機能別)
高度急性期 112床
(ERICU 18床、ICU 10床、SCU 18床、MFICU 9床、NICU 9床、
GCU 24床、救命救急センター 24床)
急性期 811床
- ・ 稼働病床数
905床 (2024年1月1日現在)
(病床種別)
一般病床 905床
(うち ERICU 18床 ICU 10床 SCU 18床 MFICU 3床 NICU 9床 GCU 12床
救命救急センター 24床)
(病床機能別)
高度急性期 94床 急性期 811床
- ・ 診療科目
糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科
腎臓内科、脳神経内科、小児科、こころの診療科、皮膚科、放射線科、総合診療科
外科、乳腺科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、産科婦人科、眼科
耳鼻咽喉・頭頸部外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、救急医療科、集中治療科
麻酔科、歯科、リハビリテーション科

・職員数

2,368名（2024年1月1日現在）

（内訳）

医師	665名（うち歯科医師7名）
看護職員	908名
薬剤師	65名
臨床検査技師	87名
放射線技師	64名
リハビリテーション技師	51名
臨床工学技士	25名
臨床研修医	93名
事務職員	169名
医療クレーク	53名
その他	188名（栄養士、公認心理士、看護補助等）

1. 現状と課題

①当該病院（自施設）の現状

・地域内での役割・機能

当センターは、「常に研鑽し患者の信頼にこたえる」という理念の下、次の基本方針を掲げ、埼玉県東部地域の基幹病院として、同地域はもとより、広域から患者を受け入れ、高度で良質な医療を提供している。

【理念・基本方針】

理 念 常に研鑽し患者の信頼にこたえる

- 基本方針
- 1 患者中心医療の実践
 - 2 高度先進医療と安全な医療の提供
 - 3 チーム医療の実践
 - 4 人間性豊かな医療人の育成
 - 5 連携医療の構築
 - 6 国際交流の推進

当センターが認定を受けているもの

災害拠点病院

地域医療支援病院

救命救急センター（3次医療機関）

2次救急輪番病院

小児2次救急輪番病院

がん診療連携拠点病院

搬送困難受入病院（6号基準）
地域周産期母子医療センター
臨床研修指定病院 等

【診療実績】

届出入院基本料 一般病院7対1入院基本料

2022年度の主な実績

1日平均外来患者数：1,939.4人

1日平均入院患者数：705.5人

平均在院日数：12.2日

病床稼働率：78.2%

紹介率：84.9%

逆紹介率：44.8‰

手術件数：22,735件

医療ニーズに即したセンターの設置

救命救急センター、総合患者支援センター、総合がん診療センター、
子どものこころ診療センター、内視鏡センター、透析センター、前立腺センター、
遺伝カウンセリングセンター、リプロダクションセンター、超音波センター、
血管内治療センター、周産期母子医療センター、移植センター、放射線治療センター、
低侵襲治療センター、小児疾患外科治療センター、新生児センター

②当該病院（自施設）の課題

医師・看護師等の医療従事者の確保

優れた高度専門医療人の育成

医師の働き方改革への対応

2. 医療機能ごとの病床数

時点	病床数	医療機能別					区分別	
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	一般	療養
2023年 7月1日 時点	923	112	811				923	
2025年 7月1日 時点	923	112	811				923	

※令和5年度病床機能報告の数値を入力

※感染症病床5床除く

3. 今後の方針

①地域医療構想を踏まえた当該病院（自施設）の地域において今後担うべき機能・役割

- ・地域医療支援病院として、今後も高度急性期及び急性期医療を担う地域の基幹病院として専門的な治療が必要な患者の診断、受入など地域医療機関との機能分化を図りつつ、高度で良質な医療を提供する。
- ・ハイリスク患者や高齢患者に対する低侵襲治療を目的とした手術支援ロボットやハイブリット手術室、CT併設の手術室など22室の手術エリアを整備しており、高度最先端の医療を提供する。
- ・総合患者支援センターでは、医療連携部門、医療福祉相談部門、在宅医療部門、入退院支援部門、クリニカルパス推進部門及びがん相談支援センターが設置されており、当センターと地域医療機関との密接な連携、患者さん等からの相談に適切に応じられる体制の確保、患者サービスの充実と推進並びに患者さんのかかえる様々な問題の解決を医療・保険・福祉の有機的連携により進めるため、患者さんの立場に立ってそれらの機能を果たす。
- ・救命救急センターの改修工事、ERICU病床の増床により、受入れ体制の強化と救急患者の受入れ、検査、手術、入院までの一連の工程が機能的に図られ、安全で質の高い医療を提供する。また、近隣の救急医療機関、消防との連携により、地域の救急医療が円滑に行われるように調整する役割を担う。

②①を踏まえた今後の方針

（病床機能や診療科の見直し、他病院との連携の方針、その他見直しの予定等）

- ・更なる医療連携の推進、高度化・多様化する医療ニーズへの対応と地域貢献
- ・段階的な高度急性期病床のフル稼働

③その他の数値目標について

- ・ ①②に関連する当該病院（自施設）で設定している数値目標を記載
- ・ ②①を踏まえた今後の方針
（病床機能や診療科の見直し、他病院との連携の方針、その他見直しの予定等）
 - ・ 病床稼働率：95.0%
 - ・ 手術室稼働率：65.0%
 - ・ 紹介率：80.0%
 - ・ 逆紹介率：70.0%

4. 新興感染症への取組

自由記載

- ・ 感染患者受け入れのためのICU及び各病棟の専有化並びに休止・再編
- ・ 入院前抗原検査の実施
- ・ ホテルでの感染患者の観察（医師派遣）
- ・ 院内外におけるワクチン接種（医師派遣）

5. その他

自由記載